

様式

学校評価報告書

深谷市立明戸幼稚園

園 長 横田 茂男

1 学校評価のねらい (学校・園としての受け止め)

幼稚園の教育活動や運営について、その達成状況を整理して取組の適切さを検証することにより、今後の組織的・継続的な改善を図ること。また、保護者等から教育活動や園運営に対する理解や参画を得て、信頼される幼稚園づくりを進める。

2 評価の方法 (自己評価・学校関係者評価・第三者評価の別、回数、方法等)

(1) 全職員から本園の教育活動その他の園運営に対して評価する。

・年1回実施

- ① 主として教育課程の編成に関すること
- ② 主として教育課程の実施に関すること
- ③ 主として教育課程の編成と実施を支える条件

(2) 全保護者から本園の教育活動その他の園運営に対して評価する。

・年2回実施

- ① 主として教育活動の状況や園からの情報提供に関する評価
- ② 主として教育環境の状況に関する評価

3 評価の結果

(1) 主な指標の変化

「子どもは大好きな友だちがいる」の項目では、「よくあてはまる」「ややあてはまる」が90%から100%になった。また、他の項目においても「よくあてはまる」「ややあてはまる」であった。しかし、「子どもは、自分の思っていることを先生や友だちに言える」の項目は、他の項目から比べると低い傾向が見られた。

(2) 学校教育目標の具現化に向けた指標

本園の目標である「心のあたたかい子」「力いっぱいがんばる子」「明るく元気な子」の達成に向け、幼児の実態、保護者の願いを踏まえて設定している。園児にとって望ましい活動の選択や環境構成を指導計画に位置付け、日々の教育活動に取り組んでいる。

(3) 学校研究課題の具現化に向けた指標

「豊かな感性や言葉で伝え合う力の育成」

～自然や人とのふれあう体験活動を通して～

園児の望ましい成長発達を促すために、地域や幼児の実態に即して課題を明確にし、保育にあたっていく。また、具体的なねらいや内容の設定をし、園児が遊びや活動に自ら取り組める環境作りに努めている。家庭や地域、保育園、小学校、中学校との連携を積極的に深め、幼児教育の充実を図っている。

4 次年度に向けての展望

※年度間の変化をみとり考察する。

日々、幼児教育に全職員で力を合わせて取り組んでいるが、この評価の結果を真摯に受け止め、より意図的・計画的に幼稚園運営を行っていきたい。